

市議会報告会を開催しました

これまで交流館などで開催していた地域市議会報告会を、平成29年度から常任委員会ごとにテーマを決めて、関係する団体と意見交換を行う方法に変更し、実施しました。各団体の皆様からいただいた意見は議会審議や提言などにより、今後の市政に生かします。

地域生活委員会

開催日:10月24日(火) / 場所:消防本部
意見交換団体:豊田市消防団

消防団員の確保や地域防災について意見交換を実施しました。団員確保の現状や今後のあり方について様々な意見があり、市側への提言につなげていくことを話し合いました。



産業建設委員会

開催日:10月30日(月) / 場所:とよた市民活動センター
意見交換団体:とよた下町おかみさん会

中心市街地活性化の取組に関して、とよた下町おかみさん会と意見交換を実施しました。市内で行われるイベント等の情報発信のあり方や中心市街地のにぎわい創出について意見が交わされました。



企画総務委員会

開催日:11月11日(土) / 場所:産業文化センター
意見交換団体:TIA*登録ボランティアグループ10団体

今後の国際的なまちづくりに関し、TIA登録ボランティア10団体と意見交換しました。国際交流や都市の国際化、外国人に対するおもてなしなどについて意見が交わされました。



教育社会委員会

開催日:11月14日(火) / 場所:シルバー人材センター
意見交換団体:高齢者クラブ連合会はじめ5団体

生涯活躍社会に向けた取組に関して、関係5団体と意見交換を実施しました。各団体が様々な課題を抱える中、行政や団体間の連携の必要性などについて意見が交わされました。



*TIA…豊田市国際交流協会

●環境福祉委員会は市民シンポジウムを担当。

次回定例会の予定

3月市議会定例会は2月23日(金)開会予定です

ご意見・ご感想

「市議会だより」について、ご意見・ご感想また、市議会へのご意見・ご要望もお受けしていますので、下記までお寄せください。

【宛先・お問い合わせ】
豊田市議会事務局
〒471-8501 豊田市西町3丁目60番地
TEL.0565-34-6665
FAX.0565-34-6566
Eメール gikai@city.toyota.aichi.jp

★代表・一般質問の様子を視聴できます★

豊田市議会 ホームページで ▶ 豊田市議会 検索
[動画で見る!代表・一般質問]をクリック!

録画放送は、質問者ごと、大項目ごとで閲覧可能です。
「市議会だより」のバックナンバーや会議録もご覧いただけます。

豊田市議会ホームページ <http://toyota-shigikai.jp> (動画で見る!代表・一般質問)

ケーブルテレビで ▶ ひまわりネットワーク 生中継&録画放送
チャンネル/121ch(ひまわりチャンネル)

F M ラジオで ▶ FMとよた(ラジオ・ラフィート)生中継
チャンネル/78.6MHz

※この冊子は、折込み「12月市議会定例会号」です。
※このページは裏面です。本紙から抜き取ってご覧ください。

とよた市議会だより



特集…視察報告(P2・P3)

その手につかむ
ボールとミライ

愛知・豊田ラグビーフェスタ2017でのラグビー体験会の様子

目次

- トップインフォメーション 視察報告 2
- 議案説明・討論 条例の制定・一部改正、工事請負契約の締結など 4
- 議案審議結果 5
- 常任委員会 付託案件を審査 6
- 一般質問 市政を問う! 19人の議員が質問 8
- トピックス 市議会報告会 12

表紙の写真と関係議案

表紙の写真は、11月12日(日)豊田スタジアムで開催された、愛知・豊田ラグビーフェスタ2017のこどもを対象としたラグビー体験会の様子です。本定例会では、議案第95号のうち豊田スタジアム関連の使用料の変更がなされました。

定例会号

12月市議会

■ 編集:議会だより編集委員会 ■ 発行:豊田市議会(豊田市西町3-60 TEL.0565-34-6665)

平成30年1月15日



先進都市の取組を視察し、市に提言していきます。

川崎市シティプロモーション戦略プラン

7月11日(火)～神奈川県 川崎市～

- **選定理由** 市民の地元への愛着・誇りの醸成や地域の特色を活かした統一感のある情報発信を行っており、「WE LOVE とよた」を推進する本市にとって有意義であると判断したため。
- **視察概要** 公害など工業都市としての悪いイメージを脱却し、川崎市の魅力や強みを重点的・戦略的に情報発信している。
- **評価・本市への反映** 川崎市のイメージアップを行うために、市民が「自分が参加してまちがつくられた」という当事者意識の向上に努めている。本市も市民と一体感を持って、資産を生かした、まちづくりが望まれる。

防災ラジオは高齢者にも扱いやすく効果的!

7月20日(木)～神奈川県 海老名市～

- **選定理由** 防災ラジオは建物内・地下でも伝わりやすく、緊急時の情報伝達ツールとして優位性があり、導入自治体が増えているため。
- **視察概要** 災害発生時等における情報発信の充実強化及び防災行政無線放送の難聴対策として、電波障害に強いポケットベルと同じ周波数帯を利用した防災ラジオを導入している。
- **評価・本市への反映** 防災ラジオの紹介を市の広報誌の表紙に掲載し、それが大きな反響を呼び在庫が一掃され、入荷待ちの状態とまでなったことは、PRの手法を検討する上で参考となる事例である。

健康づくりに自主的に取り組み、年々拡大

7月27日(木)～神奈川県 横須賀市～

- **選定理由** 多くの市民がいつまでも健康で、生きがいを持ち、生き生きと活躍できる「生涯現役プロジェクト」の事業を行っており、本市においても参考になると判断したため。
- **視察概要** 市民の健康づくりのきっかけとしてラジオ体操を積極的に取り入れている。ラジオ体操サポーターを育成しており、市内各地でラジオ体操普及の取組を行っている。
- **評価・本市への反映** 本市では今年度から生涯活躍部が新設された。横須賀市のような市民が取り組みやすいラジオ体操などは、生涯にわたる健康づくりや生きがいづくりを進めていくにあたり参考となる。

企画総務委員会



● 視察日程・場所(左記以外)

7月12日(水) 埼玉県戸田市 / 戸田市政策研究所の取組
7月13日(木) 福島県郡山市 / 公有資産の活用

地域生活委員会



● 視察日程・場所(左記以外)

7月18日(火) 千葉県千葉市 / 消防活動用ドローンの運用
7月19日(水) 東京都青梅市 / 下水管路施設の管理業務の包括的民間委託

教育社会委員会



● 視察日程・場所(左記以外)

7月25日(火) 埼玉県草加市 / 子ども教育連携推進
7月26日(水) 東京都日野市 / ICT活用教育

行政視察

常任委員会ごとに、市政の課題や検討すべきことについて、テーマを決めて先進都市に赴き取組を学ぶことを行政視察と言います。視察して学んだことは、今後の市政に役立てるよう報告書をまとめ、所管の部署への情報提供、本会議や委員会での質疑や提言に生かし、市政に反映していきます。

福祉に関する窓口をまるごと1つに!

7月12日(水)～山形県 山形市～

- **選定理由** 包括的な福祉相談体制は本市においても重要な課題であり、先進的、積極的に取り組んでいる山形市の取組は参考になると判断したため。
- **視察概要** 地域の全世代・対象の包括的な相談に乗り、必要に応じて支援機関につなぐ体制づくりを行う山形市版の地域包括ケアをモデル的に実施している。
- **評価・本市への反映** 各地域から選定された福祉協力員により、顔が見える関係で、きめの細かい対応や支援ができており、課題解決に結びついている。地域の困りごとなど相談を受けるシステムの構築はすばらしく本市も参考とすべき。

年間60万人が来場する道の駅の企画力

7月26日(水)～千葉県 神崎町～

- **選定理由** 全国から集めた選りすぐりの発酵食品を販売する発酵市場を設けるなど、他の道の駅にはない特色を打ち出し、本市において参考になると判断したため。
- **視察概要** 道の駅を地域創生の拠点、町内農商工業者の育成強化、防災の拠点、世界に向けた発酵文化の発信拠点としての役割があり、年間来場者数が60万人ある。
- **評価・本市への反映** 発酵をテーマにした発想力、企画力は、本市の道の駅においても参考となる。地元の名産品を活かした料理等の体験スペースを設けることで、道の駅を地域創生の拠点施設としてさらなる発展が期待できる。

環境福祉委員会



● 視察日程・場所(左記以外)

7月11日(火) 福島県 / ふくしま【健】民バスポート事業
7月13日(木) 宮城県仙台市 / 杜の都環境基本計画

産業建設委員会



● 視察日程・場所(左記以外)

7月25日(火) 埼玉県熊谷市 / 中心市街地の活力にぎわい創出プロジェクト
7月27日(木) 千葉県佐倉市 / 企業支援ワンストップサポートデスク

駅前の新名所、映画館も有り!『KiTARA』はもう行かれましたか?

11月22日(水) 豊田市議会として「KiTARA」のオープン前に現地視察を行いました。当施設は平成29年11月25日(土)に映画館や飲食店などを有する複合施設としてオープンし、多くの市民で賑わっています。特に映画館では、豊田市を舞台とし、豊田市で撮影を行った映画「星めぐりの町」(主演:小林稔侍)の上映が、全国に先駆け平成30年1月20日(土)(平成30年1月27日(土)全国ロードショー)から始まります。ぜひ、この週末に足を運ばれてはいかがでしょうか。



条例の制定・一部改正、工事請負契約の締結など26議案を議決

藤岡支所・交流館がリニューアルされます！

【議案第107号】工事請負契約の締結 (豊田市役所藤岡支所・豊田市生涯学習センター藤岡交流館改築工事)

【議案第108号】工事請負契約の締結 (豊田市役所藤岡支所・豊田市生涯学習センター藤岡交流館電気設備工事)

藤岡地区の活力とにぎわいの再生を図るため、藤岡支所及び藤岡交流館を合築により改築します。完成予定：藤岡支所・豊田市生涯学習センター藤岡交流館改築工事(平成31年3月26日)同電気設備工事(平成31年2月28日)



藤岡支所・交流館外観(イメージ)

安全でおいしい給食のために！

【議案第113号】特定事業契約の締結(豊田市北部給食センター整備運営事業)

適切な衛生管理のもと、心身の健全な発達に資する給食を提供するため、豊田市北部給食センターを整備します。施設運営に関しては、給食調理業務、配送・回収業務等並びに施設の維持管理及び修繕を実施。



豊田市北部給食センター外観(イメージ)

討 論

12月市議会定例会最終日に各委員会審査の委員長報告を受けて、各会派等が賛成、反対の意見を述べ、賛同を求めました。*発言順に記載

安藤康弘 市民フォーラム 住みやすい豊田市を目指した更なる土地利用の推進、賛成

議案第115号：賛成。新たに都心をはじめとする地域核周辺への居住及び都市機能の集積・集約など、更なる土地利用の推進を確認。また、安全安心な市民生活を支える視点も盛り込まれ、今後は、立地適正化計画へ確実に反映されることを期待し、賛成。

請願第1号：不同意。請願の要旨は、障がい児・者が地域で安心して暮らすために必要な社会資源の拡充などであり、現在本市では国の方針に基づき、関連する障がい福祉計画等において地域の実情に即した取組が進められているため、不同意。

大村義則 諸派 大企業ではなく中小企業への支援を増やすべきであり、反対

議案第91号：反対。これまで同様の企業立地を主旨とする2つの条例では、補助金の大半を大企業へ支援してきた。大企業ではなく、中小企業を支援する内容にし、地域内経済循環の拡大を図るべきであり、条例措置としても再考が必要であるため、反対。

議案第113号：反対。北部給食センターを建築から管理運営まで民間に委託し、利益追求の危険性があるPFI方式の導入自体、反対。人件費を削減し、安上がりの労働を前提とすべきではない。また、経営が破たんした場合のリスクを考え、反対。

深津真一 自民クラブ 要望の強い防災ラジオを出水期に運用開始できるように補正、賛成

議案第91号：賛成。奨励対象業種、重点産業分野を拡充し、産業構造の強化、研究開発機能の集積が見込まれる。他にも、中小企業への積極的な支援等、幅広い企業支援内容であり、市の安定した市政運営に効果があるものと評価し、賛成。

議案第100号：賛成。防災ラジオの取得について、購入しやすいよう市が一定額を負担することや、台風シーズン等を意識して運用開始をすとしており、評価できる。今回は3000台だが、必要とされる方全員に届けられることを期待し、賛成。

榎屋小百合 公明党 環境行動のきっかけとなることを期待し、賛成

議案第116号：賛成。持続的な発展が可能な社会の実現に向け、市民の環境行動を促すために計画の周知は重要。啓発冊子を作成し、写真等を用い分かりやすく説明を行うことを確認。市民の環境行動につながるきっかけとなることを期待し、賛成。

請願第2号：不同意。国保関連の請願内容について、国保税を納付できない特別な事情のある方には市独自の減免基準を基に対応している。その他の請願事項においても、既に実施されている項目や検討項目、制度上実施が困難な項目があるため、不同意。

岡田耕一 諸派 相談者のセーフティネットとしての機能に期待し、賛成

議案第94号：賛成。女性問題専門相談員について、高い専門知識を有する主任相談員を新たに設置することを評価。一般相談員への指導・助言、連絡調整等の機能を高め相談者のセーフティネットとして適切に対応されることを期待し、賛成。

議案第95号：賛成。多くの条例に関係するが、利用者の利便性向上、公平性の確保の面から、高く評価。特に屋外夜間照明の時間区分見直しについて、対象施設合計73施設で、多くの利用者の利便性向上につながることを評価し、賛成。

*議案名など一部省略して記載しています

採決結果	議案	会派別賛否 ※自民クラブは議長を除く							
		自民クラブ 26名		市民フォーラム 10名		公明党 4名		諸派 3名	
		賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対
◆議案									
第91号	企業立地奨励条例	26	0	10	0	4	0	1	2
92	個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正条例	26	0	10	0	4	0	1	2
93	市職員の育児休業等に関する条例の一部改正条例	26	0	10	0	4	0	3	0
94	市非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正条例	26	0	10	0	4	0	3	0
95	体育施設等の利便性の向上のための関係条例の整備に関する条例	26	0	10	0	4	0	3	0
96	生涯学習センター条例の一部改正条例	26	0	10	0	4	0	3	0
97	医療費助成条例の一部改正条例	26	0	10	0	4	0	3	0
98	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正条例	26	0	10	0	4	0	3	0
99	市営住宅条例の一部改正条例	26	0	10	0	4	0	3	0
100	平成29年度一般会計補正予算	26	0	10	0	4	0	3	0
101	// 国民健康保険特別会計補正予算	26	0	10	0	4	0	3	0
102	// 都市計画事業土地区画整理特別会計補正予算	26	0	10	0	4	0	3	0
103	// 分譲住宅建設事業特別会計補正予算	26	0	10	0	4	0	3	0
104	// 介護保険事業特別会計補正予算	26	0	10	0	4	0	3	0
105	// 後期高齢者医療特別会計補正予算	26	0	10	0	4	0	3	0
106	// 産業用地造成事業特別会計補正予算	26	0	10	0	4	0	3	0
107	工事請負契約の締結(豊田市役所藤岡支所・豊田市生涯学習センター藤岡交流館改築工事)	26	0	10	0	4	0	3	0
108	// (豊田市役所藤岡支所・豊田市生涯学習センター藤岡交流館電気設備工事)	26	0	10	0	4	0	3	0
109	// (市道豊田市駅東歩行者道2号線ほか1路線橋りょう築造工事)	26	0	10	0	4	0	3	0
110	工事請負契約の変更(都市計画道路高橋細谷線電宮橋りょう整備工事(その1))	26	0	10	0	4	0	3	0
111	// (枝下用水10号放水路移設工事(都市計画道路高橋細谷線関連))	26	0	10	0	4	0	3	0
112	財産の取得(豊田市福祉センター駐車場等整備用地(錦町地内))	26	0	10	0	4	0	3	0
113	特定事業契約の締結(豊田市北部給食センター整備運営事業)	26	0	10	0	4	0	1	2
114	名誉市民の推挙(山内一生氏)	26	0	10	0	4	0	3	0
115	都市計画に関する基本的な方針の策定	26	0	10	0	4	0	1	2
116	豊田市環境基本計画の策定	26	0	10	0	4	0	3	0
◆同意									
第6号	人権擁護委員の推薦(再任:櫻井博氏、田澤美枝子氏/新任:加藤昭孝氏、佐藤祐子氏、都築真喜子氏、内藤正弘氏)	26	0	10	0	4	0	3	0
◆報告									
第12号	専決処分報告(工事請負契約の変更3件、損害賠償額の決定4件)								
◆請願									
第1号	障がい児者の生きる基礎となる「暮らしの場」の早急な整備を求める意見書を国に提出することを求める請願書	0	26	0	10	0	4	3	0
2	介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充についての請願書	0	26	0	10	0	4	2	1
◆陳情									
第7号	国に対して「待機児童解消、保育士等の処遇改善のための財源確保を求める意見書」の提出を求める陳情書								

小原和紙工芸の基礎を築き、独創的な美術品としての価値を確立！

山内一生氏は、小原和紙工芸会を中心に小原和紙工芸の研究と技術の向上に取り組み、衰退にあった小原和紙を美術工芸品として芸術性を高め、独創的な和紙工芸品の価値の確立に大きく貢献されました。芸術家として、日展を中心に活動し、日本現代美術工芸展等でも数多く受賞し、さらに平成9年には日展の最高賞である内閣総理大臣賞を受賞。芸術のみならず、旧小原村では、平成2年から「一生奨学金」によって就学を支援し、昭和54年から22年間にわたり教育委員、そのうち教育委員長を6年間歴任されるなど教育発展にも貢献されました。これらの活動や実績が高く評価され、平成19年に旭日小綬章を受章されました。山内氏の功績は、本市のまちづくりの一規範となるものであり、郷土の誇りとするところであるため、名誉市民に推挙されました。(議案第114号関連)

山内一生氏

常任委員会とは

常任委員会とは、地方公共団体の議会が地方公共団体の事務に関する調査、議案及び請願等の審査を行わせるために、条例で定め常設する委員会のこと。本市では、以下の6委員会が常任委員会となります。

委員会

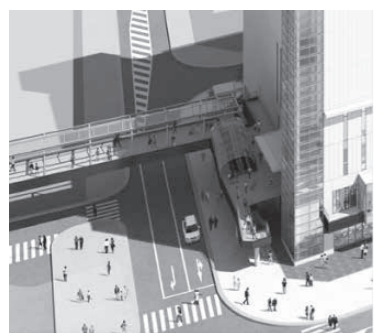
産業建設
委員会

12月7日、付託された5議案を審査し、議案のすべてを承認しました。

【第109号】工事請負契約の締結
(市道豊田市駅東歩行者道2号線ほか1路線橋りょう築造工事)

質問 延伸デッキにおける、空間デザインの統一化の具体的な内容はどのようなか。

答弁 空間デザインの統一化の取組については、策定した都心地区空間デザイン基本計画に基づいてデッキのシェルター、歩行空間の舗装等の素材、色目、形状について都心施設全体でデザインの統一化を図っている。



市道豊田市駅東歩行者道2号線ほか1路線橋りょう(イメージ)

【第110号】工事請負契約の変更
(都市計画道路高橋細谷線竜宮橋橋りょう整備工事(その1))

質問 今回の工法変更で、河川環境への影響はあるか。

答弁 盛土に使用する材料は同じ矢作川上流部の砂を用いている。作業エリアの外周部には汚濁防止フェンスを設置し、水質汚濁の原因となる土砂の流出防止の対策を行うことにより、河川環境に対して大きな影響はないと考えている。

環境福祉
委員会

12月8日、付託された3議案を審査し、議案のすべてを全会一致で承認、請願2件は不採択としました。

【第112号】財産の取得について
(豊田市福祉センター駐車場等整備用地 錦町地内)

質問 今回整備する駐車場の想定駐車台数とその算定根拠はどのようなか。

答弁 新たに130台程度を整備する想定をしており、その根拠は、過去3年間の福祉センター利用者の実績並びに平成28年度に実施した交通手段と乗車人員のアンケート結果から来館台数を推計し、その不足台数を算出した。



豊田市福祉センター

【第116号】豊田市環境基本計画の策定について

質問 自然共生社会の重点施策にある、生物多様性保全に係る企業の理解・活動の促進について、求められる背景とその活動をどのように促進していくか。

答弁 背景としては、市内の約170の事業所が取得しているISO14001が2015年に改訂され、環境方針を策定する際に、新たに生物多様性保全の視点が盛り込まれ、事業活動において、その保全が求められるようになった。市では、相談窓口を設け、理解を深めるとともに、市内で環境活動を行う市民団体に関する情報提供等を行い、中間支援組織へと橋渡しをすることなどで事業者の生物多様性保全に関する環境活動を促進していく。

教育社会
委員会

12月11日、付託された4議案を審査し、議案のすべてを全会一致で承認、請願1件は不採択としました。他に陳情1件を報告しました。

【第96号】豊田市生涯学習センター条例の一部を改正する条例

質問 交流館の利用ルールの規制緩和により、交流館の管理負担増につながらないか。

答弁 今回の見直しにより、交流館職員の役割も、講座や事業を企画・実施する側から、市民の主体的な活動の支援やコーディネートする役割にシフトしていくこととなる。そのため、単純に負担増につながるものとは考えていない。

【第113号】特定事業契約の締結
(豊田市北部給食センター整備運営事業)

質問 現在の北部給食センターと藤岡給食センターの調理員の雇用はどのようになるのか。

答弁 現在の調理員の雇用を検討することを要求水準書において、事業者に求めている。事業者からは、既存調理従事者を優先的に雇用していく考えを持ち、事業説明会や雇用説明会を実施する提案が出されている。



北部給食センター(イメージ)

地域生活
委員会

12月12日、付託された2議案を審査し、議案のすべてを全会一致で承認しました。

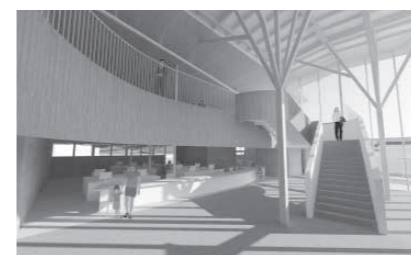
【第107号】・【第108号】工事請負契約の締結

質問 藤岡支所・藤岡交流館の改築工事について、前回の入札が不調となった後、落札業者が決まるまでの経緯と予定価格の見直しはどのようなであったか。

答弁 開札結果が出た後、入札に参加した業者からヒアリングを行うとともに、工事内容の明確化に努めた。また、工期未設定の変更に伴い、別途発注予定であったバスの待合上屋などの工事を含めるなど、再発注に向けて準備を進めた。予定価格の見直しについては、最新単価への入替を実施したことと併せて、工事期間の変更による経費の見直しなどを行った。

質問 現在の交流館から追加される機能や特徴、及び改築、合築により期待される効果はどのようなか。

答弁 追加した主な機能は、地域との協議を通じ、新たに設置した調理室、子育てサロンである。また、特徴としては、小規模で多目的な利用が可能なおかホールや、作品の展示を想定したふじおかギャラリーを確保したことである。合築により期待される効果は、支所・交流館のほか、商工会・観光協会等の関係団体の機能集約を通じ、多くの人に交流館活動を知ってもらえることや、地域コミュニティの交流が活発にできるものと期待している。



藤岡支所・交流館コミュニティホール(イメージ)

企画総務
委員会

12月13日、付託された5議案を審査し、議案のすべてを全会一致で承認し、請願1件は不採択としました。

【第94号】豊田市非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

質問 相談員の育成を担う主任相談員の質を高めていくための取組を今後どのように考えているのか。

答弁 OJTや外部の機関が実施する研修への参加を行うほか、本市が、三重県、静岡市、名古屋市とともに4自治体で組織している東海地区男女共同参画を進める相談事業研究会のネットワークを活用し、相談員のスキルの向上、相談システムの構築、支援プログラムの充実等にも取り組んでいく。

【第115号】都市計画に関する基本的な方針の策定

質問 都市計画マスタープランで示す中央公園の第2期整備の進め方とスケジュールはどのようなか。

答弁 どのような公園機能が必要で、この機能に必要な区域のあり方について、市民の意見も伺いながら、整備計画をまとめていく予定である。事業の実施に当たっては、策定した整備計画に基づき、都市計画施設としての計画決定が必要となるため、まずは、2019年度末の計画決定を目指して進めていく。



都市計画マスタープラン(案)

予算決算
委員会

12月6日から15日に付託された補正予算7議案を審査し、すべての案件を全会一致で承認しました。

【第100号】平成29年度
豊田市一般会計 補正予算

質問 今回予定している美術館の改修工事の内容と、利用者に対して休館の周知方法はどのようなか。

答弁 改修工事の主な内容は、天井の耐震改修、照明のLED改修、防水改修である。休館の周知方法については、広報とよた、ホームページ、各種案内チラシ、看板などで行っていく。

質問 防災ラジオ取得事業について、どのような段階まで、現在の条件で販売を続けるか。

答弁 現在の条件での販売は、平成30年度から3年間を目途としており、この間で防災ラジオを必要とされる方に普及できることを見込んでいる。なお、申込状況や販売状況に応じて、期間中に改めて条件の見直しを実施する予定である。

質問 市長・議会のトップセールスでニュージーランドを訪問する理由と、豊田スタジアムで試合を行う国へ、どのような取組を考えているのか。

答弁 ニュージーランド国民は、ラグビー熱が高く、時差が少ないため多くの来訪者が期待できることから、ニュージーランドを選んだ。また、本市で試合を開催する国には、その国の状況に応じてウェブ、テレビや新聞、雑誌などの各国の媒体を活用した広報、公式旅行代理店を通じた広報などを予定している。

市政を問う!

12月4日から6日にかけて、19人の議員が市政の方針や考え方などについて問う「一般質問」を行いました。その質問と答弁の一部を要約して掲載します。

※質問順に掲載しています。
※正式な会派名/自民クラブ：豊田市議会自民クラブ議員団 市民フォーラム：豊田市議会市民フォーラム
公明党：公明党豊田市議団 諸派：会派所属無

一般質問

山田 主成
自民クラブ



- (仮称)第3次豊田市教育行政計画の策定
- 効果的な情報発信
- 身近な地域での総合的な相談・支援体制の構築

質問 健康と福祉の相談窓口

健康と福祉の相談窓口の取組を踏まえ、住み慣れた地域で安心して暮らし続けるための支援について考えを問う。

答弁 太田市長

健康寿命を伸ばすためのまちぐるみの健康づくりや、支援が必要な人への支えあいの地域づくりが大切と考え、地域で身近に相談できる健康と福祉の相談窓口を今年度、高岡支所内に開設した。平成30年度には猿投地区での開設を考えており、今後、これらの実績を評価・検証する中で、全市的な整備を検討していく。こうした施策を一つ一つ積み上げることで、市民が住み慣れた地域で、安心して暮らせる社会を目指していく。

岩田 淳
自民クラブ



- 健全な財政運営と今後の財政経営戦略

質問 国保制度改革への対応と新たな歳入確保

財源確保の視点から保険者努力支援制度の支援金獲得の取組状況、平成30年度の見込み額、確保した財源の活用を問う。

答弁 市民部

平成30年度から新たに創設される保険者努力支援制度の支援金がより多く確保できるよう、国が示す評価指標にあわせて、各種事業の取組の見直しや保健部等関連部局への協力要請・連携の強化を図っている。その結果、平成30年度の保険者努力支援制度の支援金は1億7千万円余を見込み、本市としては愛知県に納める国民健康保険事業費納付金に充てることで、保険税率等の抑制につなげるべく活用を図っていく。

太田 博康
自民クラブ



- 市民の健康づくり・健康増進
- 小・中学校へのエアコン整備

質問 次期健康づくり豊田21計画策定の進捗

具体的な数字を示したスローガン等を掲げ、無理なく実践できる計画策定が大切と考えるが、市の考え方や取組を問う。

答弁 保健部

第3次計画では3つの重点プロジェクトを予定している。①ベジトレとよたプラス10では、野菜と運動を日常生活に取り入れた健康づくり。②8020から9020へでは、いつまでも自分の歯で食べる健康づくり。③きらきらウエルネス28の取組では地域健康カルテを活用したまちぐるみで取り組む健康づくり。本市全体を進める健康づくりに加え、すべての中学校区で、地域が主体となった、身近な地域資源や特徴を活かした健康づくりを支援する。【写真有】

吉野 英国
市民フォーラム



- 国民健康保険制度改革への対応

質問 医療費適正化に向けた取組

健康診断を過去1回以上受診した方へ、さらに受診を促す取組を強化するなど、ターゲットを絞った啓発活動のあり方を問う。

答弁 保健部

平成24年度から5年間の特定健診受診記録をもとにしたデータ分析によれば、毎年度受診者は20.2%、1度でも受診した方は54.8%である。県内では5年連続受診の割合が高い市町村ほど健康診断の受診率が高く、関連性がわかった。連続受診者数の増加が、全体の受診率向上につながると考えられることから、1度でも受診したことがある人の中でも、直近2年間に受診歴のある方等を中心に、継続した受診を積極的に勧奨していく。

加藤 和男
自民クラブ



- 第8次豊田市総合計画の着実な推進
- 交通事故死傷者数の削減

質問 高齢者の交通事故防止対策の強化

安全技術が進化し、より安全な車が開発されても、安全な運転知識の習得は必要と考えるが、今後の高齢運転者に対する安全教育を問う。

答弁 地域振興部

新たに2つの取組を行う。①高齢者運転技術講習会や自動車メーカー等による講習会を開催し、自動ブレーキ等の先進安全機能を体験する。②交通安全学習センターの高齢者講習において、判断力や運動機能の低下の自覚、先進安全自動車の機能や作動状況を正しく理解するための講習プログラムを新規に追加する。これらにより高齢運転者に先進安全自動車の正しい知識を習得いただき、安全運転意識を更に向上させていきたいと考える。【写真有】

○太田博康議員関連



まちぐるみの健康づくり事業(ラジオ体操)

○加藤和男議員関連



高齢者運転技術講習会

宮本 剛志
自民クラブ



- 重大危機管理案件発生時の自治体の役割
- ラグビーWC試合日程決定の総括と今後の方針

質問 ラグビーWC試合日程決定の総括と今後の方針

開催都市としての最大限の努力と最善の準備とは何か。成功に向けてのプロセス等を含め、市の覚悟を問う。

答弁 経営戦略部

大会成功は、スタジアムが国内外からの観戦客でいっぱいになり、楽しみ、満足してもらうことである。多くの市民が主体的に関わり、市を挙げた最大限のおもてなしで来訪者を迎えられるよう努めなければならないと考える。また教育現場とも連携し、盛り上がり子どもたちとも共有していく。4年に一度のイベントではなく、一生に一度のチャンスとしてとらえ、まちづくりに効果的に活かすため、とよたビジョンに掲げる各種事業を確実に進めていく。【写真有】

鈴木 孝英
市民フォーラム



- スポーツと魅力ある都市の形成

質問 豊田マラソンでのハーフコース設置

豊田マラソンでのハーフコースの設定は、スポーツの価値を生かしたまちづくりに寄与するため、検討が必要と考えるが今後の取組を問う。

答弁 生涯活躍部

10キロコースをメインとする市民マラソンとして全国屈指の規模に成長した豊田マラソンは、市民に支持されるマラソン大会として今後も継続していきたいと考えている。ハーフコースは、市民の機運の高まりを勘案しながら、山間地を走るトレイルランやトレッキング大会など豊田市の魅力である自然を生かしたランニングイベントも含め、投資と効果のバランスの視点から、今後スポーツコミッション事業を調査する中で研究していく。【写真有】

水野 博史
自民クラブ



- マイナンバーを活用した行政サービス
- 持続可能な未来都市の実現

質問 マイナンバーカード今後の展開

マイナンバー活用拡大のため、市独自でサービスを研究・議論し方向性を示していく事が重要である。今後サービス拡充のための対応を問う。

答弁 総務部

マイナンバー制度導入に向け、副部長級で構成する事務改善委員会を主体に検討を進め、その中にワーキンググループを編成し研究してきた。コンビニ交付は、このワーキンググループの研究の中で取り組んできたもので、現在、事務改善委員会では、マイナポータルやびったりサービスへの対応に向けて検討を進めている。さらなるサービスの拡充に向けて、またマイナンバーカードの普及に向けて力を入れていきたい。

田代 研
公明党



- 防災・減災対策
- 教員の多忙化対策

質問 災害が起こった後の避難運営等

災害時にイラストを指さして意思を伝え合う、災害時バンダナを導入すべきと考えるが、その考えを問う。

答弁 福祉部

様々な困難のある人が、適切な支援が受けられる場所へ移動する途中で、災害時バンダナを着用すると、本人にあった方法で、適切な避難行動を促すことができるなど、一定の役割を果たす機能はあると考える。しかし、発災時において効果を発揮させるためには、日常生活において常に持ち歩く必要があることなど、本人にとっての使いやすさに課題があるため、現時点においては導入を考えていない。

日當 浩介
市民フォーラム



- 人手不足を共に支え合う社会構築に向けた取組

質問 豊田市版人材バンクによる市民活躍の取組

就労・ボランティア・市民活動の分類を問わない、豊田市版人材バンク創設ができないか見解を問う。

答弁 産業部

本市における人材確保支援策については、就労希望者、事業者、就労希望者と事業者のマッチングの3つの視点を柱に展開している。今年度は新たな取組として、事業者に向けた職場環境を改善する、働き方改革推進事業の展開や、就労希望者に向けた(仮称)女性活躍総合窓口の開設に向け取り組んでいる。今後、社会経済環境の変化、情報環境の変化などを注視し、提言は人材確保の新たな取組への提案として受け止める。

○宮本剛志議員関連



ラグビー体験会

○鈴木孝英議員関連



豊田マラソン

市政を問う!

議員氏名
会派名



○一般質問の大きなテーマ(大項目)
●以下の質問に関連している項目

質問 一般質問の小さいテーマ(中項目)
答 弁 回答した部局名
実際に質問した内容(小項目)
質問に対する市の担当部局の回答

塩谷雅樹

市民フォーラム



●持続可能な産業の更なる活性化に向けた取組

質問 豊田市の産業振興に向けた取組

産業の更なる発展を目指すため、国県、産学官連携で企業を支える取組を促進すべきと考えるが、現行制度の活用や周知に向けた取組を問う。

答 弁 産業部

とよたイノベーションセンターを中心に、補助制度等の紹介や活用支援を行っており、設備購入費等に関する国の補助金は、豊田商工会議所とセミナー等を開催し、補助金採択の実績を上げている。また文部科学省とナノテクノロジープラットフォーム活用セミナーを共催し、市内企業の新たな事業展開の機会を提供。ものづくり創造拠点SENTANの開所によりネットワークが広がりつつある。これを契機に企業の新事業展開に資する連携事業を展開していく。【写真有】

桜井秀樹

市民フォーラム



●将来に向けた豊田市の財政運営

質問 ミライに向けた投資

歳入を増やす観点や歳出削減を投資へまわす考え方も必要で、積極的に情報発信すべきと感じる。今後の財政運営を含めたあり方を問う。

答 弁 企画政策部

将来の人口減少、超高齢社会の急速な進展、自動車関連産業の構造的変化や法人市民税の一部国税化による財政構造の変化など、本市は大きな転換期を迎えようとしている。まちづくりの基本的な考え方の中で新たな発想や手法、仕組みによるまちづくりの転換を促す。第8次豊田市総合計画における、超高齢社会への適応、産業の強靱化、暮らしをよし、訪れてよしの魅力創出の3つの重点施策を中心に経営資源を配分・投資していく。

大石智里

公明党



●障がい者の支援の充実

質問 発達障がいの一貫した支援の構築

こども発達センターを発達センターとし、年齢に関係なく相談を受けることのできる機関を設ける事への考えを問う。

答 弁 福祉部

発達障がいのある方の相談窓口は1か所での専門窓口よりも、委託相談支援事業所や健康と福祉の相談窓口といった身近な地域でまずは対応した方が、より多くの方の支援ができると考える。地域の見守りや生活困窮相談といった違う場面からも専門相談の必要性が見出される方もいる。地域の窓口を最初の相談窓口として位置付け、相談者の困り事に応じた適切な支援機関へとつなぐことで、多様化している事案に幅広く対応していきたいと考える。【写真有】

根本美春

諸派



●県単位化でも、国民健康保険税は据え置きを
○放課後児童クラブの民間委託の検証と改善

質問 一般会計からの繰り入れは必要かつ可能

国会等の状況をふまえると一般会計からの法定外繰り入れは必要であり、可能と考えるが、市の認識を問う。

答 弁 市民部

国民健康保険は、高齢者の加入が多く医療費水準が高いことや低所得者層の加入が多いため、所得に占める保険料負担が重くなっている。また国民皆保険の最後の砦としてのセーフティネットの役割を担っているとの認識のもと、一般会計からの一定の繰り入れは必要と考える。一方、いわゆる、赤字補てんを目的とした法定外繰り入れは、解消に向けた努力も必要であることから、豊田市国民健康保険運営協議会において審議している。

古木吉昭

市民フォーラム



○住み慣れた地域で安心して暮らすために
●国際イベントを契機としたまちづくり

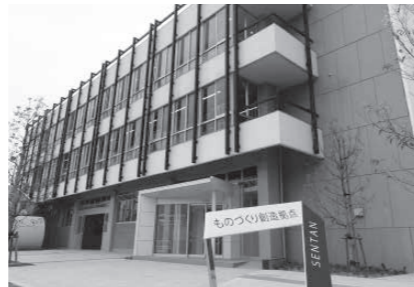
質問 持続可能なまちづくりにつなげる取組

様々なジャンルの国際イベントや幅広いMICE(マイス)につなげ持続可能な取組につなげるべく、市長の考えを問う。

答 弁 太田市長

MICEとは、研修目的で実施する旅行、国際団体、学会等が主催する総会、文化・スポーツイベント、ビジネスイベントなどの総称で観光庁が推進しているものであり、この開催は、国内外から多くの人が集まることから、経済効果だけではなく都市の魅力そのものの向上につながる。文化・スポーツを中心としたイベントをはじめ、企業の会議、学会、展示会などの誘致を積極的に進め、産業化を見据えながらまちづくりにつなげていく。

○塩谷雅樹議員関連



ものづくり創造拠点(SENTAN)

○大石智里議員関連



こども発達センター

大村義則

諸派



○研究開発施設事業による環境への影響と対策
●学校で「先生が足りない」問題

質問 先生の不足に対する市教育委員会の認識と対策

先生が足りない事態を学校現場まかせにせず、教育委員会として対応することが必要と考える。常勤教員のプール制導入について提案する。見解を問う。

答 弁 学校教育部

産休、育休等で講師の配置が必要になった場合、人材確保を学校に任せるのではなく、基本的に市教育委員会が学校とも連絡を取り合い、常勤講師の必要数を把握し、対応している。現在、市教育委員会に登録のある常勤が可能な講師が、市内の小中学校で勤務しているが、必要数に対して講師の数が不足しているため、補充できないのが現状である。今後は市の准教員制度を活用しつつ、常勤講師として勤務可能な人材の確保に最大限に努めていく。

岡田耕一

諸派



●事業・事務の最適化(歳出削減の取組)
○将来を見据えた歳入増の取組

質問 公用車に関する各種見直し

市長車、議長車はレクサスLSを使用。地産地消というならクラウンがよい。近隣中核市でもこの水準である。車種、更新基準見直しを求め、所見を問う。

答 弁 経営戦略部・総務部

特別職等公用車の車種、車格についての考え方は変わっていないので見直しは考えていない。更新は、使用期間3年又は走行距離9万kmが基準だが、機械的に更新するものではなく、基準到達した時点で総合的に判断しており、再リース等により継続使用に努めている。更新基準の見直しは予定していない。現在運用している基準に基づいて、更新の必要性を総合的に判断し対応していきたい。

羽根田利明

自民クラブ



●高齢者施策の着実な推進
○収益型農業をめざす取組の推進

質問 徘徊高齢者対策

予備軍を含めると4人に1人が認知症と言われる。本年度検討してきた徘徊対策の課題と今後の取組を問う。

答 弁 福祉部

徘徊の問題は、捜す目の強化と警察との連携強化が必要と考える。捜す目の強化については、かえるメールとよたに顔写真の添付機能を追加し、また今後は、新たにケーブルテレビやラジオで情報発信していく予定である。またGPS機器を購入するための補助制度を12月15日から開始する。警察との連携強化については、11月に締結した協定に基づき、徘徊で保護した高齢者の情報などを提供してもらい、再発防止に取り組んでいく。

木本文也

自民クラブ



○ものづくり支援における人材育成
○中心市街地活性化
●交通安全都市を目指して

質問 ゾーン30推進

生活道路への抜け道としての車両を抑制する「ゾーン30」の今後の具体的な導入エリアの考えを問う。

答 弁 地域振興部

現在、青木台、平戸橋一区自治区内においてゾーン30の整備を進め、猿投台地区の地域会議、区長会と連絡をとり、同地区における導入に向けた調整を行っている。平成30年度以降は、同地区内において国道153号北バイパス及び都市計画道路平戸橋土橋線を始めとする関連道路の整備と合わせて区域の選定及び導入を進めていく予定である。また、市内でゾーン30の成果が見込まれる地区についても、積極的に導入を地域に働きかけていく。【写真有】

議会傍聴に お越しく下さい

●議会の傍聴とは

本会議や委員会の様子は、子どもを含めどなたでも傍聴していただけます。当日、傍聴受付で住所・氏名を記入し、傍聴券が交付された後、会場へ出入りできます。車いすでの傍聴や盲導犬・介助犬を伴った傍聴も可能です。また、手話通訳者をご希望の方は、5日前までに議会事務局までお申し込みください。

★代表・一般質問の質問者や質問項目は、市議会ホームページで事前に公開しています。

市議会ペンギンからの傍聴中についてお願い。傍聴される際は、静粛にお願いします。

●議場の見学とは

本会議を開催していない日は、議場を見学することができます(土・日・祝日を除く)。職員がご案内しますので、見学をご希望の際は、事前に議会事務局までご連絡ください。

また、各種団体での受入れもしておりますので、お気軽にご相談ください。

●お問い合わせは豊田市議会事務局まで

傍聴受付

※会議が始まる30分前から受付
本会議→市役所南庁舎8階
委員会→同7階委員会室前

※期間や日程は市議会だより、市議会ホームページなどをご参照ください。

○木本文也議員関連



ゾーン30整備道路